

第 63 回 西日本帽子工業協同組合
通常総会議事録

平成 22 年 5 月 19 日

西日本帽子工業協同組合

第 63 回 西日本帽子工業協同組合通常総会議事録

1. 開催通知の年月日 平成 22 年 5 月 8 日
及びその方法 文書をもって各組合員に通知
1. 開催の年月日 平成 22 年 5 月 19 日(水)
1. 開催の場所 大阪府中央区馬場町 2-24
KKRホテル大阪「瑞宝の間」
1. 理事・監事の数及び出席理事・監事の数ならびにその出席方法
理事数 9 名 出席理事数 8 名 (本人出席)
監事数 3 名 出席監事数 1 名 (本人出席)
1. 組合員数 58 名
1. 出席者数 32 名 (本人出席 16 名、委任状出席 16 名)
1. 出席理事の氏名 (五十音順) 阿部公義、大田正樹、坂本平、竹中輝夫、村上純司、
柳井紘次、山岡土岐夫、吉田武雄(五十音順)
1. 出席監事の氏名 古賀淳一
1. 議長の氏名 坂本一民
1. 議事録の作成に係る職務を行った理事の名前 山岡土岐夫
- 1 議事の経過
(1) 開 会 午後 5 時 00 分
(2) 総会成立の確認
開会時刻午後 5 時 00 分に至り、本日の司会者天川一良事務局担当者が開会を
宣し、本総会の出席者数を報告、適法に成立する旨を告げ、議長が選出されるま
で理事長山岡土岐夫氏が仮議長となり、理事長より次のような挨拶がありました。
(3) 理事長挨拶
本日はお忙しい中、西日本帽子工業協同組合第 63 回通常総会にご出席いただ
きありがとうございます。
理事長として 1 期 2 年間、組合員の皆様、理事、監事、事務局等のご協力で力不
足ではございましたが、何とか勤めさせていただくことが出来ました。心より感
謝いたしております。
振り返れば去年は自民党から民主党に政権が変わり多少でも希望が持てるか
と思っておりましたが、迷走ばかりが目立っており、また国内ではトヨタのリコ
ール問題、世界ではギリシャやタイの政治不安で、これから先、思いやられるこ
とばかりでございます。とは申しても愚痴ばかり言っておれません。
西日本帽子工業組合の主催の合同展示会も回を重ね、今年 4 月の開催で 5 回目
を迎えることになりました。今回は中央帽子株式会社様、また異業種の京丹後フ

アプリックのグループが丹後チリメン等の展示をしていただき、大いに盛り上がりました。これを機に京タンゴとのコラボの機会を増やしてゆきたいと思っています。また10月には同じ産業創造館で第6回の合同展示会を行います。組合員の皆様も、こぞって展示会に出展や来客としてお顔を出してご協力をいただけることを希望しています。

工業組合が「WHAT'S」(ワッツ)の若い力と組合員皆様の「ものづくり」に対する技術と経験を活かして、この苦しい時をお互いに協力し合って乗り切ってゆきましょう。また組合活動に対しては、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。最後に各社のご発展を祈念して挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

(4) 議長の選任

続いて本会議における議長の選出(定款39条による)を議場に諮ったところ満場一致で当組合顧問、坂本一民氏が選任され就任した。坂本一民氏が議長席につき直ちに議案の審議に入りました。

(報告事項) 議長は事務局担当者の天川氏に平成21年度の事業報告書に続いて貸借対照表、損益計算書、並びに財産目録、を報告させた後、監事にその精査結果の報告を求める予定でしたが監事の代表の辻勇氏に急用が出来て出席できなくなり、代わりに事務局天川氏が4月28日に監事3名に各書類を厳正、綿密に調査したところいずれも正確且つ定款に則り適切であることが認められたという「監査報告書」を議場の全員に提示し報告した。議長は議場に事業報告ならびに決算関係報告について質問を求めた結果、1点議長坂本氏より未収金が多いようであるがこの件の説明をしてほしいとの意見があり、事務局天川氏は21年度分は22年4月に70万5千円納金され、残りはその後次々振り込まれ、80%以上5月に納金の予定であると説明があり、ほかに質問なく、事業報告書、決算関係書は承認されました。

第一号議案 平成21年度損失処理案の承認を求める件

議長は天川氏をして同損失処理案につき報告説明させた後、議案の賛否を議場に求めたところ出席者満場異議なく原案通り可決した。

第二号議案 平成22年度予算案の承認を求める件

議長は平成22年度予算案を天川氏に説明をさせた。議長はこの提案についての質疑を全員に問うた。

(質疑と提案) 第1件: 支出の部の「関係団体負担金」が昨年実績89,500円を22年度60,000円で出来るのか。

(事務局天川応答) 関係団体の内「中央会」を脱会して、会費その他行事関係の負担を軽減する。

第2件：事務所費が昨年110万円で22年度予算を70万円は無理ではないか、それに関連しこの際無理な予算を立てるより賦課金を底上げ検討のほうがいいのではないか。たとえば賦課金を全員一律にして平均化する方法（1社当たり約年会費45000円位だと思う）もあるのではないか。事務所費は内容により多少は変わってもどうしても必要であると思われる。全体に収入が限界に来ているので再度賦課金の検討しなければならない時期に来ていると思う。賦課金の決め方等昔より改善されてないのでこの際、検討するように。売り上げの自己申告方法や販売数量別方法等いろいろあると思うので検討すべきである。

（事務局天川、吉田副理事長ほか回答）事務局としては、各費用を切り詰め節約することに専念し無駄の排除に努めたい。賦課金は平成19年に値上げしており、今回値上げすればかなり抵抗があり地方の方々等に退会者が出るのではと思われるので慎重に対処すべきである。この件は予算をかなり無理をして立てているので早急に役員会で検討するようにして、議長は議場に、組合員の意向を勘案し進めるとし、予算案の賛否を求めた結果、出席者満場一致で承認可決した。

第三号議案 役員(理事、監事)任期満了に付き改選を求める件

議長は本案を上程し、その方法を議場に諮ったところ定款第30条4項、5項、6項の規定により指名推薦の方法となり、次の選考委員が選出された。

（委員長）甲斐哲郎氏、阿部公義氏、大田正樹氏、大亦敬祐氏、竹中輝夫氏、柳井紘次氏、吉田武雄氏の7名が選出され別室にて審議に入ったため、議長は暫時休憩を宣した。

午後5時30分選考委員が入場したので、議長は会議の継続を宣した。選考委員長甲斐哲郎氏が次の如く発表した。

理事 大田正樹氏、坂本平氏、竹中輝夫氏、西井賢治氏、松田吉弘氏、村上純司氏、柳井紘次氏、山岡土岐夫氏、吉田武雄氏 以上9氏

監事 甲斐浩次氏、古賀淳一氏、辻 勇氏 以上3氏

議長は上記、被指名人を以て、当選人とするか否かを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

議長は理事に選任された方々が理事会を開催して代表理事の選任等を行うように促し、再度議場は休憩となる。

午後5時40分理事の入場を確認し、議長は議事を再開するよう宣言した。議長は理事会の結果を副理事長の吉田氏に報告するよう促した。吉田氏は理事会にて互選の結果、代表理事に山岡土岐夫氏が再選されたことを報告した。議長は理事長に代表理事挨拶と副理事長の指名等を報告させた。










山岡土岐夫理事長は挨拶をし副理事長は吉田武雄氏、竹中輝夫氏に決まった。以上をもって議案は全部終了したので、議長は午後6時00分閉会を宣した。



上記は西日本帽子工業協同組合第 63 回通常総会の議事を記載し、定款第 42 条の規定により、議長並びに出席理事は下記のとおり署名捺印する。 以上

平成 22 年 5 月 20 日

西日本帽子工業協同組合通常総会

議長	さか	もと	いち	みん	
	やま	おか	と	き	お
代表理事	山	岡	土	坂	夫 
出席理事	若	田	武	雄	
同	竹	中	輝	夫	
同	坂	本	平		
同	柳	井	結	次	
同	西	井	賢	治	
同	打	工	純	司	
同	松	田	吉	弘	

以上

平成 22 年 5 月 19 日

西日本帽子工業協同組合 組合員各位

大阪府中央区久太郎町 4 丁目 2 番 9 号

西日本帽子工業協同組合

理事長 山岡土岐夫

西日本帽子工業協同組合通常総会決議のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて 平成 22 年 5 月開催の第 63 回通常総会におきまして、次のとおり決議されましたので、お知らせ申し上げます。

記

決議事項

第 1 号議案 第 63 期〈平成 21 年 4 月から平成 22 年 3 月まで〉の事業報告、貸借対照表、
財産目録、損益計算表、損失処理案〈別紙〉

第 2 号議案 第 64 期（平成 22 年 4 月から平成 23 年 3 月まで）の予算案〈別紙〉

第 3 号議案 役員〈理事、監事〉任期満了につき改選〈別紙〉

上記 3 案についてはすべて原案通り承認可決されました。

以上

事業報告書

平成 21 年度

自 平成 21 年 4 月 1 日
至 平成 22 年 3 月 31 日

I. 事業活動の概況に関する事項

1 事業年度における主要な事業内容・当該事業年度における事業の経過及びその成果

(1) 組合及び組合員をめぐる経済・経営状況

業界全体での問題として、人員の確保や海外商品の低価格に対する対策はまだまだ解消されていないが、高品質商品の開発や商品デザインの研究等に各社が取り組み始めたことに希望が持てるようである。

(2) 共同事業の実施状況

材料、付属の共同買付については大分前に激減してそのままであり、現在は他社との違いにて商品を構成しなければ売れない時代なので、斡旋手数料としては下記の損保代理店業務のみになった。平成 22 年度は新しい提携先を模索中である。

① 損害保険代理店提携 (自平成 21 年 4 月～至平成 22 年 3 月)

(有)オルト 収入額 93,835 円

② パッキングケース販売業務 (自平成 21 年 4 月～至平成 22 年 3 月)

(株)浪華紙器(海外よりの輸入のケース増大により注文がない。) 収入額 0 円

③ カーリース斡旋業務 (自平成 21 年 4 月～至平成 22 年 3 月)

(株)リデイ・カサービス(リース等の需要が皆無であった。) 収入額 0 円

④ 旅行斡旋業務(自平成 21 年 4 月～至平成 22 年 3 月)

(株)トラベルジャパン(研修会等旅行の減少により注文が皆無。) 収入額 0 円

斡旋事業受取手数料 総合計 93,835 円

2. 増資及び資金の借入れその他の資金調達の状況——なし

3. 設備投資の状況——なし

4. 業務提携等重要事項の概要——なし

5. 財産及び損益の状況(当該事業年度は含まない。)

(単位 円)

項目	前期H20(08)	前前期H19(07)	前前前期H18(06)
資産合計	11,398,396	12,821,062	14,006,699
純資産合計	11,032,396	12,483,562	13,796,699
事業収益合計	2,943,824	3,222,048	2,406,287
当期純利益金額	△844,166	△515,137	△1,020,201

6.対処すべき重要な事項・組合の現況に関する重要な事項

組合行事として、新年互礼会、夏季研修会、年2回の組合員の合同展示会を実施してきたが、全員の参加をいただけなかった。各行事は続けて実施し、参加者の増加を待つべく、興味をもてるように若い人の意見を入れ検討してきた。これら行事は原則的に大勢の人が参加し、続けて実施することに意義がある。

しかし組合にて多少出してきた補助金を減額し、参加者負担を増やしてでも続けねばならない現状である。他に事務所の経費、消耗品等節約に徹底し運営していく方針である。

II 運営組織の状況に関する事項

1. 総会の開催状況

開催日時 平成21年5月22日 場所 KKRホテル大阪

出席組合員数 38名(本人出席16名、委任状出席22名)

出席理事数9名(本人出席8名、委任状出席1名)

出席監事数3名(本人出席1名、委任状出席2名)

主な議案の議決状況

第1号議案・平成20年度事業報告ならびに決算関係書類承認の件は決算書の監査報告を含めて、満場異議なく承認された。

第2号議案・平成21年度事業計画及び収支予算承認の件

事務所費等の説明が事務局員より説明があり、今後の役員会での検討事項の確認があり、原案通り満場一致で承認可決された。

2. 理事会の開催状況

開催日時 平成21年5月7日 組合事務所

出席理事8名監事1名(委任状出席1名)

議案1 第62回通常総会に関する事項

議案2 第3回展示会の検討について。

平成21年7月1日組合事務所

出席理事7名監事1名(委任状出席1名)

議案1 通常総会での問題点について。

議案2 展示会、通常総会の会計報告

議案3 平成21年度の活動計画(展示会、研修会)

平成21年11月5日組合事務所

出席理事8名監事なし

議案1 第4回展示会について。

議案2 西日本帽子工業協同組合顧問、役員合同委員会の件。

平成21年12月13日、14日ザ・グランリゾート有馬

参加(顧問)2名(理事)4名

議案1 組合活動と来期の展望について。

議案2 合同展示会と研修会について

平成22年2月9日組合事務所

出席理事7名監事1名(委任状出席1名)

議案1 新年互礼会の報告、反省について。

議案2 第5回展示会の現状についての件。

3. 部会活動(青年部会)WHA T S (ワッツ) の活動記録

組合員の中で各会社で2代目、3代目代表あるいは将来その会社で幹部候補であり元気な人(帽子業界の危機を感じている人)を集めて「WHA T S」と名づけた青年部会を最低2月に1回会合を持ち意見交換をしたり、情報交換をし懇親を図るように平成17年より今年の5月で36回になる。下記の「合同展示会」もこのWHA T Sよりの提言にてWHA T S中心の世話役で毎回実施している。

記

平成21年4月24日 11名・谷町『松崎屋』第3回展示会の反省ほか

平成21年6月20日 15名・梅田「ニューミュンヘン」反省その2

平成21年8月1日 11名・上本町『知念屋』次回展示会の件

平成21年9月26日 14名・曾根崎『雅』次回展示会役割決定

平成21年11月13日 13名・京橋「とりひめ」新年会、ホームページの活用の件

平成21年12月26日 20名・神戸「あほぼん寺」展示会は客筋が帽子関係が多くなっていい傾向である。

平成22年2月6日 13名・鳴野「朝潮」次回のチラシは千枚見当でOKか。

大阪市立大学の加藤教授のセミナーあり。

平成22年3月26日 12名・本町「凜」研修会候補場所は次回検討延期した。

4. 行事の開催状況

(1) 合同展示会(第3回)平成21年4月15日、16日、(第4回)10月22日、23日

組合事業活動には、4月と10月の組合員合同展示会、新年互礼会、夏季研修会、がある。合同展示会は22年4月で第5回になり毎年開催しているので、徐々に認知されてきているように思われる。DMも毎回、千枚以上発送し、ホームページでも記載しているために、問い合わせが増えてきている現状である。毎回趣向を変えて開催し、認知度を増やし、最終目的として商売に繋がりたいと思っています。出展社も増やし、来客者ももっと増やさなければと思っている。

(2) 新年互礼会 平成22年1月8日 22名参加

協同組合西日本帽子協会と共同開催で平成22年1月で2回目になる。共同開催に意義があるように、両組合の若い人たちを含めた委員で実施している。

(3)夏季研修会 平成 21 年 8 月 28 日 22 名参加

①カシミヤの深喜毛織工場見学、②カシミヤのニット糸製造の東洋紡糸工場
 見学、③懇親会と施設見学の岸和田「いよやかの郷」。

5. 組合員数及び出資口数の増減

(1口金額 1,000円)

	前年度末	増加	減少	本年度末
組合員数	59名	0	1名	58名
出資口数	6160口	0	121口	6039口
出資総額	6,160,000 円	0	121,000 円	6,039,000 円

6. 役員に関する事項

(1) 役員の氏名及び職制上の地位及び担当

地位	氏名	職務上の地位	担当
理事長	山岡土岐夫	(株)茶ビン堂取締役社長	全般
副理事長	吉田武雄	(株)ヨシダ取締役会長	青年部会会長
同	竹中輝夫	(株)テル取締役社長	展示会担当(兼青年部会)
理事	大田正樹	(株)京ボウ取締役社長	教育情報事業
同	柳井紘次	(株)金剛商会専務取締役	福利厚生担当
同	村上純司	(株)村上製帽専務取締役	青年部会アドバイザー
同	坂本平	(株)全帽社専務取締役	青年部会副会長
同	西井賢治	中央帽子株式会社取締役社長	福利厚生事業
同	松田吉弘	(株)共栄取締役社長	教育情報事業
監事	辻 勇	オリオン帽子株式会社取締役社長	会計監査
同	古賀淳一	(有)コガ取締役社長	同
同	甲斐浩次	(株)甲斐取締役社長	同

(2) 兼務役員についての重要な事実——なし

(3) 辞任した役員の氏名

地位	氏名	退任月日・退任事由
理事	阿部公義	平成 22 年 5 月 19 日・任期満了
同	大西康裕	平成 22 年 5 月 19 日・任期満了
監事	前川浩	平成 22 年 5 月 19 日・任期満了
同	下村康雄	平成 22 年 5 月 19 日・任期満了

7. 職員の状況及び業務運営組織図

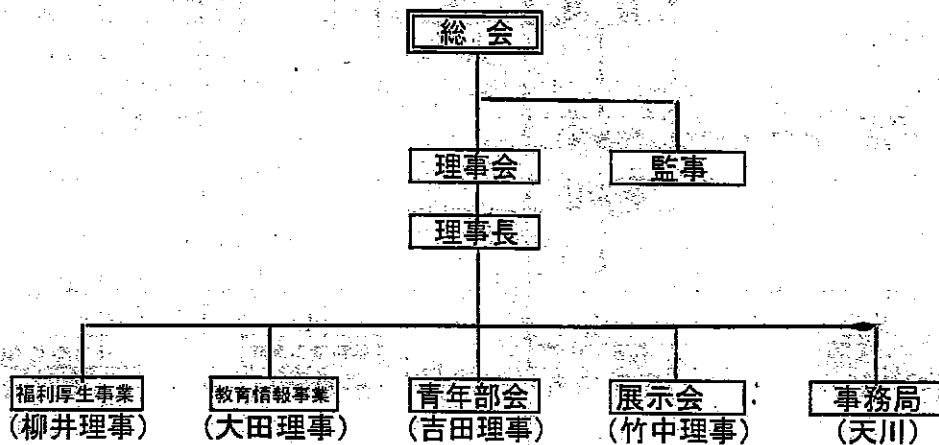
(1) 職員の状況

	前期末	当期増加	当期減少	当期末
人数	1名	0名	0名	1名
平均年齢	69歳			70歳
平均勤続年数	5年			6年

(2) 組合組織図

組合組織図

H22.5.19



(3) 組合と協力関係にある組合員が構成する組織の概要——該当なし

8. 施設の設置状況——主たる事務所は1箇所のみで従たる事務所等はありません。

9. 重要な子会社（子法人、関連会社）の状況——該当なし

10. 組合の運営組織の状況に関する重要な事項——該当なし

Ⅲ その他組合の状況に関する重要な事項——特別に記入することなし

平成22年度予算案

平成22年5月19日

支出の部

科 目	平成21年度予算(円)		平成21年度実績(円)		平成22年度予算(円)	
事業費用		2,720,000		3,186,251		2,610,000
指導研究調査費	70,000		115,002		60,000	
広告宣伝費	100,000		121,869		100,000	
福利厚生費	0		0		0	
給料及び手当	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
通勤手当	205,000		204,440		205,000	
報酬	105,000		105,000		105,000	
消耗品費	20,000		99,861		70,000	
事務所費	860,000		1,106,551		700,000	
通信費	30,000		71,509		50,000	
交通費	30,000		54,010		40,000	
総会費	40,000		36,150		30,000	
理事会費,打合費	2,000		7,533		2,000	
租税公課	10,000		7,521		8,000	
雑費	48,000		56,805		40,000	
事業外費用		280,000		219,500		190,000
関係団体負担金	150,000		89,500		60,000	
退職引当金	60,000		60,000		60,000	
法人税等	70,000		70,000		70,000	
合 計	3,000,000	3,000,000	3,405,751	3,405,751	2,800,000	2,800,000

収入の部

科 目	平成21年度予算(円)		平成21年度実績(円)		平成22年度予算(円)	
I. 事業収入計		80,000		93,835		100,000
1. 幹旋手数料	80,000		93,835		100,000	
II. 賦課金等収入計		2,850,000		2,720,500		2,640,000
1. 賦課金	2,850,000		2,720,500		2,640,000	
III. 事業外収入計		70,000		54,183		60,000
1. 受取利息及び配当	60,000		37,656		30,000	
2. 雑収入	10,000		16,527		30,000	
合 計		3,000,000		2,868,518		2,800,000